

私たちの暮らしを支えるふるさと納税

小林市のふるさと納税では、寄付者が7つの寄付金の使い道を選択することができます。寄せられた寄付金は、寄付者の意向に沿った形でさまざまな事業の財源として活用されています。

令和3年度に寄付者が選んだ使い道

-  安心して子どもを産み育てることのできる子育てにやさしいまちづくり (31.4 億円)
-  教育環境の整備を図り、将来を担う子どもたちが積極的に学ぶことができるまちづくり (7 億円)
-  災害に強く、安心安全に暮らせるまちづくり (5.2 億円)
-  市長におまかせ (32.7 億円)
-  豊かな自然環境や文化を後世に残すまちづくり (9.6 億円)
-  産業の活性化を図り、地域経済の発展に取り組むまちづくり (6 億円)
-  健康で健やかな生活を送り、一人ひとりが生きがいの持てるまちづくり (5.2 億円)

寄付者の意向をもとに事業を実施

例えばこんな事業に使われています！

てなんど小林学校給食応援事業



小・中学生の学校給食費を半額助成し、保護者の負担を軽減しています。(小学生1人当たり年間約2万3500円、中学生1人当たり約2万7千円を助成)

子ども医療費助成事業



未就学児や小・中学生の保険診療分の医療費を一部助成することで、子どもの健全な発育を促進しています。(薬局は全額助成)

家畜衛生対策事業



「畜産のまち小林」を支える畜産農家を支援するため、家畜の疾病予防・伝染病の発生防止のための各種ワクチン接種の推進や薬剤を配布しています。

ふるさと納税でつながる絆

寄付者のなかには、寄付をつうじて小林のファンになってくれる人も。ふるさと納税のポータルサイトのひとつに寄せられた、寄付者からの温かいメッセージを一部ご紹介します。

おいしいお肉がとれる素敵なまちですね。九州に伺った際はぜひお邪魔したいです。

すばらしい自然に恵まれ、豊富な食材が育つ地域がずっと残ってほしいという思いで寄付させていただきます。

ネットで小林の方々の温かさや活気を感じ、素敵なおところだなと思いました。返礼品を通じて応援します！

未来の子どもたちに夢のあるまちをつくってあげてください。

生産者の皆さんを応援しています！

以前も美味しい宮崎牛をいただきました。今後も寄付を続けます！

ふるさと納税で小林市を知りました。応援してます！

親が太陽のタマゴの大ファン。来年も食べさせてあげたいです。



特集

まちも寄付者もうれしいふるさと納税で 小林をもっと元気に！

ふるさとや応援したいまちに寄付をすると、寄付金額に応じて所得税や住民税の控除・還付が受けられ、寄付先の自治体から特産品などがもらえるお得なふるさと納税制度。

今回の特集では、ふるさと納税で寄せらせた寄付が私たちの暮らしにどう役立てられているかや、寄付額アップに向けた取り組みを紹介します。

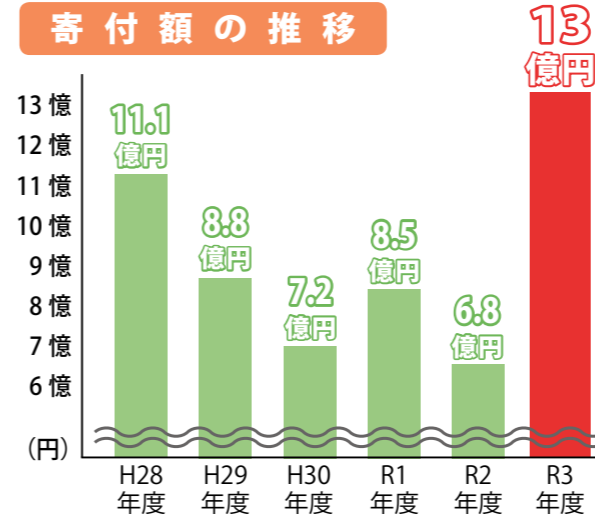
令和3年度寄付額

令和3年12月末現在

13億457万円

(前年比197%)

寄付額の推移



「生まれ育ったふるさとに貢献できる」、「自分の意思で応援した自治体を選べる」制度として平成20年度にはじまったふるさと納税制度。本市にとっても、まちの魅力発信や地域経済活性化の有効なツールであり、子育てや地域活性化のためのさまざまな事業の重要な財源になっています。

近年では、コロナ禍での巣ごもり需要の高まりなどもあり、全国の自治体間で競争がさらに過熱。本市でも、平成20年度の制度開始当初からふるさと納税に取り組んできましたが、平成28年度以降寄付額が減少傾向にありました。

令和3年度は、効果的なプロモーションの実施や寄付者のニーズに沿った形への返礼品の見直しなどをおして、市内の特産品の魅力発信を強化。その結果、寄付額は13億457万円(12月末現在)と、過去最高を更新中です。

返礼品の見直しや効果的なプロモーションでふるさと納税寄付額が過去最高を更新中！



宮崎牛西諸振興会会長
JAこばやし肥育牛部会会長
畜産農家
さかしたのぶお
坂下 信雄 さん

全国の人に小林や宮崎牛の魅力を知ってもらうことができ、うれしく思います。また、ふるさと納税をつうじて市へも貢献できていると思うと、生産者として作り手冥利に尽きます。

市のふるさと納税担当や畜産担当も一所懸命なので、我々畜産農家も負けずに若手・ベテラン丸となって、さらに良いものをつくりたいと気持ちがあがっています。



西諸の若手果樹農家の団体「ぐれーぶ」代表
果樹農家
たねだけんたろう
種子田 健太郎 さん

ふるさと納税をきっかけに、いろいろな品種にチャレンジしています。

新品種へのチャレンジは難しいため、若手果樹農家でつくる「ぐれーぶ」の仲間同士で教え合いながら、全員でよりよいものを作っています。

これからも、他では作っていないような品種にもチャレンジしながら、常にいいぶどうと梨を作っていきたいです。

小林のファン獲得で寄付額アップ

小林の魅力ある風景やふるさと納税のお得な情報を発信することで、ファン獲得を目指しました。

ファンサポーターズクラブ

出身者や小林市を好きになってくれた人たちのためのファンクラブ「こばやしファン・サポーターズCLUB」。ふるさと納税をきっかけとして会員数が大きく増加しました。会員に対してふるさと納税のお得な情報を定期的に発信することで、リピーターになってもらうことも…

会員数
12,544人

(令和3年3月31日時点)

▶▶ 18,500人

ふるさと納税 Twitter

公式 Twitter アカウント「宮崎県小林市ふるさと納税オフィシャルナビ」をリニューアル。返礼品情報だけでなく、プロモーション企画との連動や小林市の魅力をゆる〜くつづやくことでファンを獲得し、情報発信力が大幅にアップしました。

フォロワー数(年度当初)

50人

▶▶ 3,550人

ふるさと納税寄付額アップへ向けた 令和3年度の取り組みの一部をご紹介します

事業者の返礼品開発支援で寄付額アップ①

事業者同士のコラボによる新返礼品の開発を支援。事業者の強みを融合し、新しい商品開発を行いました。

NEW! 例えば
風月堂 (APOP) × あき酒造
焼酎パウンドケーキ・焼酎生チョコ



新商品として、今年のパレンタインデーの時期に出品を予定しています。

効果的なプロモーションで寄付額アップ

お肉に恋しようキャンペーン

令和3年10月から「お肉に恋しようキャンペーン」を開催。公式 Twitter などと連動し、寄付者に生産者への応援メッセージを寄せてもらったり、寄付者自身に小林のお肉の魅力を発信してもらう取り組みを行いました。お肉をつうじて、小林のファンが増加中です。

事業者の返礼品開発支援で寄付額アップ②

事業者にアドバイスなどを行い、全体の約70品目に当たる280品目の見直し・入れ替えを実施。寄付者のニーズに沿った商品を出品することで、寄付額アップを目指しました。

ふるさと納税主要ポータルサイトの全国約30万点の返礼品の中から、小林市産宮崎牛3品目が人気総合1位を獲得!



全国の返礼品のなかで
人気総合1位を獲得!



二つ目は、寄付に対する返礼品事業で地場産業が活性化されます。宮崎牛やマンゴー・メロンなどの農畜産物をはじめ、水や木製品、菓子などといった小林ならではの地場産品が返礼品として寄付者の元に届けられています。リピーターとして毎年寄付くださったり直接購入いただくなど、地域経済の好循環を生み出しています。

最後に、寄付金が市の自主財源になっています。自治体運営では、使途が限定されず、自治体の裁量で事業執行ができる財源は大変貴重です。子育て支援や教育環境の整備など、市独自事業の実施に不足はならない財源ですので、少しでも多くの寄付をいただくことが重要です。

これらのことから、今後ふるさと納税にしっかりと取り組んでいきます。市民の皆様にも、市外にお住まいのご家族やご友人に「ふるさと納税は小林に!」と一言お声掛けいただければうれしいです。

全国の皆様の応援が
まちの元氣になっています

これまで延べ約23万6千人の皆様にふるさと納税を寄付いただき、寄付総額は約62億4千万円となっています。(令和3年12月末現在)

出身者や本市と関わりのある方など、小林を応援したいという皆様のエールに感謝いたします。ふるさと納税がもたらすさまざまな効果のうち、特に3つを紹介します。

一つ目は、小林の豊かな自然やその自然に育まれた農畜産物など、これまで伝えきれなかったまちの魅力を全国の皆様知っていただく機会になっています。また、寄付をきっかけに小林のファンになっていただき、その後の関係性を築くことにもつながっています。



地方創生課
もりおか やすし
森岡 康志 課長